

オブジーボ+mFOLFOX6療法

【外科】225【食道癌、胃癌】

(第 コース目)

*網かけ部分は必須記入事項

診療科:	病棟:
医師名:	印

身長:	cm	体重:	kg
体表面積:	m ²	Cr:	mg/dL

■レジメン	下記が1コースの投与スケジュール：2週ごとを1コースとする				
Day	1	2	8	9	~14
施行日	/	/	/	/	
オブジーボ	↓	休薬	休薬	休薬	
エルブラット	↓	休薬	休薬	休薬	
アイソボリン	↓	休薬	休薬	休薬	
5-FU	↓	↓	休薬	休薬	

■投与順序 ※マークは同タイミング投与薬あり

滴下順		
①		生食 50mL 10分
②		●オブジーボ注【 】mg 生食 100mL 30分
③		生食 50mL 10分
④		デキサート注1.65mg 2A アロカリス注235mg 1V グラニセロンバッグ 100mL 30分
※⑤		●エルブラット注【 】mg 5%ブドウ糖 250mL 2時間
※⑤		同時に 側管より ●アイソボリン注【 】mg 5%ブドウ糖 250mL 2時間
⑥		●①5-FU注【 】mg 生食 50mL 3分
⑦		生食 50mL 10分フラッシュ
⑧		●②5-FU注【 】mg 5%ブドウ糖 120mL 約46時間baxter infusion pumpで

■投与量	※投与量の参考	
薬剤名	標準投与量	
オブジーボ注	240mg/Body	
エルブラット注	85 mg/m ²	mg/Body
アイソボリン注	200 mg/m ²	mg/Body
①5-FU注	400 mg/m ²	mg/Body
②5-FU注	2400 mg/m ²	mg/Body

入力 薬剤師	看護師	看護師

■注意・確認事項

- 中心静脈から投与すること。
- 点滴セットはフィルター付き輸液ルートを使用すること。
- エルブラットは塩化物・塩基性溶液との混和は不可
- 外来から初回導入となる場合は、インフュージョンリアクションの観察の為、点滴終了1時間後に医師の診察を受け、帰宅の許可を得ること。